

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	美浜町立わかば園		公表日		R7年3月21日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	22%	78%	・パーティションで仕切る、活動内容を考えるなど随時検討している。 ・併設の保育所の遊戯室やホールなど、保育所や各クラスと調整し利用している。	・定員が増え、年齢や発達幅が広がってきている。 ・クラスの定員はないので、親子クラスの人数が増えると特に狭さを感じる。 ・部屋数が増やせない中、スペースを区切り使う必要がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	89%	11%	・定員に対してはかなり余裕のある配置数である。児の状態に応じて職員を臨機応変に配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	44%	56%	・保育所と併設されているため、できる範囲で環境を整えている。 ・児童発達支援のスペースは物品の配置やスケジュールの提示など分かりやすく構造化している。 ・併設の園舎は老朽化しているところもあるが、日々清掃し清潔に保てるよう配慮している。	・併設の保育所の共有スペースは環境整備を行うことが難しい。 ・バリアフリー化はされていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	56%	44%	・併設の保育所は古いところもあるが、日々清掃し清潔に保てるよう配慮している。	・併設の保育所については、老朽化もあり暗くて寒い。 ・併設の園舎のトイレが古い
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	33%	67%	・空き部屋はないが、児の状態に応じて、部屋の隅や部屋から出て併設の保育所の空きスペースを利用し、クールダウンしている。	・空き部屋がない。 ・部屋数が少ないため、個別で使用するの難しい。パーティション等の仕切りがあると良い。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・職員同士で話し合い、計画、振り返りをしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	89%	11%	・勉強会や園内研修を行い、全体で把握している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	89%	11%	・日々、1日の振り返りや困りごとを話せる時間が設けられており、職員同士考えを共有している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11%	78%		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	56%	33%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	89%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	89%	11%	・各クラス職員で行っている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・同じような活動でもねらいが違いため、グループワークや日々の中で保護者にねらいを伝えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	89%	11%	・言語訓練など個別で行い、日々の課題などは集団の中で行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	89%	11%		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	・必要に応じて話し合う場を設けている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・情報共有は移行前に交流したり、引き継ぎや事後訪問を実施している。 ・移行先の保育所で交流し、園児と一緒に過ごす機会では、児の姿をよく知っている担任が同行することで、保育者間の情報交換がしやすいと感じる。	・インクルージョン推進に向けて保育所へのアプローチが必要。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・支援級の見学時に同行している。 ・書面で行っているが、要望に応じて直接訪問して情報共有も行う。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	56%	44%	・地域に児童発達支援センターがないため、知多圏域の事業所との交流会や、外部機関の研修を利用している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	89%	11%	・保育所と併設しているため、行事など含め、交流する機会を設けている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・両クラス共、月1のグループワーク、年5回の面談を実施している。 ・親子クラスは日々、単独クラスは週1回の親子通園日、または、必要に応じて随時子どもの状況について伝えあい、共通理解を図っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	・町主催のペアレントトレーニング研修や外部の講習会等の情報提供を行っている。 ・園内で作業療法士による保護者向けの講義(年3回)行った。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・面談を行い、児や保護者の思いや意向を確認してから作成している。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	78%	22%	・父母の会の活動はないが、保護者の集まる機会、時間を設けている。(わかばタイム・さくらんぼタイム、卒園児の保護者を迎える座談会等)	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	89%	11%	・口頭、掲示にて発信している。本年度よりキッズビューでの情報発信も取り入れた。 ・活動概要については、毎月の課題表を紙面で渡し、口頭で説明を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・書庫に施錠して保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・児には絵カード等見て分かる情報と共に分かりやすい言葉掛けをしている。保護者には全体の掲示と口頭にて説明をしている。また、個別に絵カード使用の申し入れがあれば対応している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11%	89%	・日本福祉大学の学生と交流する機会を設けている。(月2回 グループワーク時)	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・併設の保育所と合同で防犯訓練を行っている。 ・アレルギーなど緊急時の対応訓練も職員間で練習した。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	89%	11%	・避難訓練を併設の保育所と一緒にしている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	78%	22%	・園児調査票で服薬、アレルギー等の確認を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	・月1回で面談を行い、保護者と栄養士、調理員、職員とで面談を行い、確認を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	78%	22%	・計画はないが、併設の保育所と合同で訓練を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	89%	11%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	89%	11%	・ヒヤリハットが発生したときは記録を残すとともに職員間で共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	22%	44%	・計画に記載はしていない。 ・保護者に虐待や身体拘束について話し、何が該当するか周知し、了承を得ている。		